

広報



特集 わが町まるごとブランド化作戦

## プロに学ぶ料理の極意

ぶくらすカレッジ「でばん講座」のひとつ「コツを聞きながらひと味違う美味しい料理を作ってみよう」が、7月4日に中央公民館で開かれました。この講座は、講師である割烹きくやの菊地正憲さん(1区)のアドバイスを受けながら本格的な料理に挑戦するもので、町内外から12人が参加。プロ直伝の技を生かして、和食を中心としたフルコースの豪華な料理ができあがりました。



平成30年

7

No.689



# わが町まるごと ブランド化作戦

ブランドと聞くと、高級品や全国的に有名な食材の産地などを連想しがちです。しかし、身近なところでもよく目を凝らして見れば、「私たちの町にも誇れる宝物がたくさんある」と気がつきませう。恵まれた環境から生まれるおいしい食品、受け継がれてきたノウハウ、それらを踏まえて創り出される新しいアプローチ——あらゆる可能性を秘めた「おおえブランド」についてお伝えします。



## おおえブランドの誕生

本町には四季折々の豊かな自然、重要な文化的景観に指定された街並や文化財、伝統ある祭事に加えて、数多くの特産品があります。これら町の地域資源は、経済活性化に結びつく可能性を秘めているものの、地域を越えたブランドとしての知名度はまだ十分とはいえません。このため、町外へ売り込むことのできる特産品開発と、その地域ブランド化に同時に取り組むことが求められるようになりました。

そこで、町商工会では平成28年度から特産品づくり・ブランド化推進事業補助金を活用し、町商工会、JAさがえ西村山大江基幹支所、町観光物産協会と町で構成する「おおえブランド推進機構」を組織。町内の産品を多くの方に知っていただき、販売力の強化につなげるための「おおえブランド」確立に向けた取り組みを始めました。その大きな目的は、町ならではの魅力ある特産品開発支援と地域ブランド化支援の相乗効果によって、交流人口の拡大を推進し地域を活性化させるとともに、町の商工業の振興を図ることにあります。

## おおえブランド 認定品を一挙紹介！

(平成30年4月1日現在・29商品)



大江町産  
やまがた地鶏入り  
ZAWAカレー (関野家)



あてらざわせんべい  
(協大江町商業振興会)



大江町産  
やまがた地鶏の  
日本一の手羽先(味付き)  
(関野家)



えくぼ美人  
(有蝶谷)



日本一くん  
どら焼き  
(有蝶谷)



▲「おおえブランド」認定商品に貼り付けられるロゴマーク。「BRAND」の文字色は町の四季の魅力を表しており、左側のマークは「OOE」を組み合わせたデザインを最上川のイメージである水色で描いたものです



▲「おおえブランド」第1弾を決める第1回審査会の模様



**ブランド認定までの道**

「おおえブランド」商品の認定を受けるためには、①申請者が町内および近隣の事業者などであること、②商品が町内で製造・加工されたもの、または町内産の原材料を使用しているものであり、「おおえブランド」にふさわしい価値があると思われること、③認定により町の地域経済の向上に貢献する何らかの効果が見込まれるものであることなどの要件を備えていなければなりません。事業者や団体はふさわしいと思われる商品を申請し、おおえブランド推進機構の構成メンバーによる審査会で認定される必要があります。

第1回おおえブランド認定商品審査会は、平成29年2月に交流ステーションで開かれました。この審査会では21の商品の申請があり、審査員は一つひとつの味や品質、地域性やオリジナル性などを吟味して審査。その結果、12の商品が第1弾の「おおえブランド」として認定されることになりました。

さらに昨年度には第2回、第3回の審査会が開かれ、第1回と合わせた認定商品は29商品にまで拡大しました。



**認知度向上へPR作戦**

認定された商品には「おおえブランド」であることを示すシールが貼付され、知名度向上のために推進機構による商品のPR支援を受けることができます。

地域ブランド力を高めていくためには、多彩な地域資源を生かした特色ある商品の開発とともに、商品を広く知ってもらうための内外へのPR戦略が欠かせません。

「おおえブランド」第1回認定商品の決定後、推進機構ではブランドを紹介するテレビCMやホームページの制作、チラシ折り込み、のぼりの作成と認定商品販売事業所への設置など、積極的な広報活動を展開。平成29年度も地域情報誌への記事掲載やラジオ出演、町内商店街へのタペストリーの設置など、さまざまな手法でPRに取り組みました。また、県内外で開催される各種商談会や物産展、見本市など、会場を訪れる多数のお客さんにブランドの魅力を直接アピールする機会を生かし、精力的に出席してきました。

こうした活動が功を奏し、「おおえブランド」に関する問い合わせが



大江町産 やまがた地鶏の親子丼 (あしたば食堂)



大江町産 グラッセシリーズ すもも・紅玉りんご・ラフランス (株オーエ)



桃の実工芸品 (桃の実工房)



本格焼酎 舟唄の里 (大江町酒販会)



あゆ焼き (たい焼きさくら)



大江町産 やまがた地鶏の烏中華 (あしたば食堂)



大江の職人の 手動編み カシミア100% ニット製品 (ニット小野寺)



大江錦・神通の雫 (大江町酒販会)



増えたほか、認定商品を取り扱うお店でも来客数が伸びるなど手ごたえが感じられるようになっていきます。こうしたPR効果の向上には、子どもたちにも分かりやすいキャラクターを生かした宣伝も一役買っているようです。

## 「日本一くん」を広告塔に

「おおえブランド」普及のために活躍しているキャラクターが、大江町スペシャルサポーター「日本一くん」です。「日本一くん」は町や商店のPRのために町商工会で制作されたキャラクターで、平成25年に「最上川流通・往来及び左沢町場の景観」が国の重要な文化的景観に選定されたことをきっかけに、一般公募で寄せられたデザイン案の中から決定されました。

髪型が最上橋、目がさくらんぼ、耳がスモモ、口が最上川のうねりを表現しており、重要な文化的景観の構成要素の一つである楯山公園の愛称「日本一公園」から名前が取られました。本町ならではの「ご当地キャラ」として、町内商店などのPRのためにイラストを活用するとともに、平成28年度には着ぐるみを製作し町

内外の各種イベントなどに出演。今年子どもたちにも大人気のキャラクターとなりました。

「おおえブランド」の認定マークのぼりにもこの「日本一くん」のイラストが採用され、愛らしいデザインがブランドのイメージアップに大きな効果をもたらしていると考えられます。さらに昨年、「日本一くん」が町の方言をコミカルに表現したLINEスタンプやキーホルダーが制作されるなど、多方面にわたって活躍の場が広がっています。その人気が上昇が「おおえブランド」の今後の知名度向上にますます貢献していくことが期待されます。



## 誇りをもって語れる町

今年4月、JR左沢駅前や原町通り、内町横町通りなどの街路灯に新しいタペストリーが掲げられました。えんじ色と金色に彩られた垂れ幕の一方の面には「国選定重要文化的景観の町 左澤へようこそ」、もう一方には「おおえブランド いいもの 発見大江町 おおえプライド」と印象されています。「ブランド」とも大きく記された「プライド」の文字——これは、町の誇りである歴



▲各種イベントに引っ張らだこの「日本一くん」



▲楯山田植踊りの前に催された「じえーどごかるた」大会

史や文化的側面を表したものです。新たな特産品の開発や販路拡大のための取り組みだけではなく、現在の町を形作るに至った歴史や文化の結晶に改めて光を当て、町内外への認知度を高めることによって地域ブランド力のベースを築こうとする試みも進められています。

町商工会女性部が中心となって制作した「じえーどごかるた」は、そうした取り組みが形となった例といえます。このかるたは町内の名所や特産品、伝統文化などをユーモラスな方言で紹介するもので、楽しく遊



大江町産無農薬大豆の豆腐  
(庄司豆腐店)



ぷくちゃんクッキー  
(カフェ ウーピー)



山ぶどう原液  
(果汁工房 果実の森スズキ)



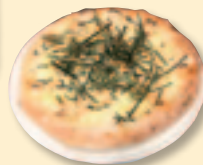
大江町型住宅  
(大江町型 住宅販売会)



ラフランスシロップ漬け  
(鈴木果樹園)



山菜・きのこの缶詰  
(佐藤商店)



大江産  
やまがた地鶏の  
てりやきチキンピザ  
(カゼッタ)



真麻うどん・真麻ひやむぎ  
(株大江町産業振興公社)





Interview

# 新体制で地域ブランド確立に挑む



おおえブランド実行委員会委員長  
松田 通さん (7区)

大江町商工会会長  
木村圭一さん (6区)

ブランド化という手法はビジネスの基本と重なる部分が大いなので、ブランド力を高められるかどうかはそれぞれの商店の取り組みによるところが大いと思っています。そのうえで、大企業や他市町村のブランドの活用例を参考にしながら、「おおえブランド」を今後どう発展させていくか考えていきたいです。認定品の中から1つでも大ヒットするようなものが出てくれば、他の商品も後に続いていくのではないのでしょうか。

家業を継ぐために実家に戻ってきた方や、新しいお店を出した方など、町内にはがんばっている若い世代が多く、私たちも見習わなくてはならないと感じています。実行委員長という役目を引き継いだばかりですが、町の商工会にはまだまだ力があると思いますので、「おおえブランド」のこれからを楽しみにしながら今後取り組んでいきたいです。

「おおえブランド」の誕生から今年で3年目を迎えました。今後どうやってブランドのイメージを作っていくか、いかに広く伝えて定着させていくかという部分が商工会としての仕事だと考えています。町と商工会、町内事業者などが協力し合い、皆さんの要望をうまくマッチングして地域ブランド力を高めていける形を模索しています。そのために、今後セミナーや勉強会を開いて商工業の活性化につなげたいと思っています。「おおえブランド」が起爆剤となり、町内の商店がもう一度活気づいてがんばっていけるような姿を目指したいです。

商店街に設置したタペストリーには、大江町「プラス」という言葉を付け加えました。これは町民の皆さんの心意気のようなものをイメージしています。商工会だけではなく、「おおえブランド」が町民みんなのものになるようにしていきたいですね。

## 町の代名詞を目指して

本町で初めての地域ブランド確立に向けた取り組みとして、3年目を迎える「おおえブランド」。町の名物となりうる特産品の開発と、多岐

びながら町の歴史や文化を自然に覚えもらおうと作られました。町内の小中学校や保育所、公民館などに寄贈され、地域の行事で活用されるなど徐々に浸透しつつあります。

にわたるPR活動の成果が芽を出し始め、知名度の向上ぶりが少しずつ実感できるようになってきている状況です。しかし、全国の名だたる地域ブランドのネームバリューに鑑みれば、「おおえブランド」の浸透具合はまだまだ発展途上にあるといえます。ブランドの知名度を高めるために欠かせないPR面では、今後SNSを活用した普及活動が検討されています。インターネットを通じたPRは、方法次第では若い世代を含め全

国の幅広い年齢層にブランドの魅力を訴えかけることも可能となります。また、町内外のイベントや物産展などへの参加をはじめ、これまで同様の地道な販売促進活動を継続していくことも重要になります。「おおえブランド」が将来、町民の皆さんが誇りをもって町外に、そして全国にお勧めできる「わが町のブランド」になるのも夢ではありません。何しろ、この町には「日本一」と名の付くものがあるのですから。



大江町の花  
あじさいシリーズ  
(3種類)  
(菓果房かしくら)



トマトジュース  
(ゆかいな野菜村)



鯉のうま煮  
(最上鯉屋)



最上川  
いかだ船  
(銘菓処 藤岡屋)



やまがた地鶏  
ウィンナー  
(兼子土木株)



トマトジャム  
(ゆかいな野菜村)



鯉のまるっと煮  
(最上鯉屋)



桃華 (銘菓処 藤岡屋)



# 1 ■朝日連峰の魅力を広く発信 ～朝日連峰古寺案内センター起工式～



▲工事の安全を祈り玉串を捧げる渡邊町長



▲朝日連峰古寺案内センター建設予定地

登山客向けの観光施設として新たに整備する朝日連峰古寺案内センターの新築工事が着工を迎えるにあたって、起工式・安全祈願祭が7月2日に朝日連峰古寺登山口付近でおこなわれました。この施設は、日本百名山に数えられる朝日連峰の魅力を発信し、多くの人に安全に登山を楽しんでいただくための案内所として整備をおこなっているものです。

古寺案内センターは木造2階建てで延べ床面積が276.73㎡、古寺地区で産出された杉材をふんだんに使用し、木の温もりが感じられるような施設を目指します。1階にはさまざまな目的に活用できるホールのほか、食堂、厨房、浴室、トイレ、スタッフルームなどを整備。2階には寝室、和室を設け、防災拠点としての活用のほか、観光振興、自然学習、宿泊、休憩のための機能を有した施設となる予定です。

式典では神事がとりおこなわれ、渡邊町長のほか工事関係者、地区民の代表者などが玉串を捧げて建設工の安全を祈願。渡邊町長は「朝日連峰登山は根強い人気があるため、注目を集める施設になると考えています。誇りを持って整備を進めていきます」とあいさつしました。施設は平成32年度にオープンする予定です。

# 2 ■バス利用での通院負担を軽減 ～高齢者等通院支援給付事業～

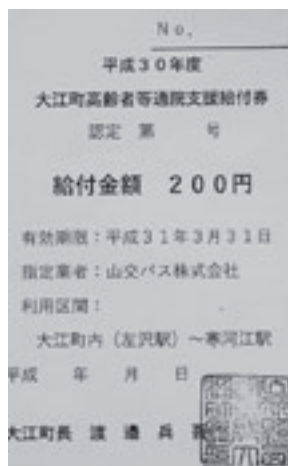
町では今年度、町外の医療機関へ公共交通機関を利用して通院している高齢者などを対象に、通院費用の一部を助成しています。

対象となるのは、高齢者（75歳以上）で一人暮らしまたは高齢者のみの世帯の方と、身体障害者手帳1・2級保持者で、運転免許証を持たない方、家族による支援が受けられない方です。助成を受けられるのは山交バス路線の左沢駅から寒河江駅までの区間で、「大江町高齢者等通院支援給付券」1回200円の上限48回分を支給します。

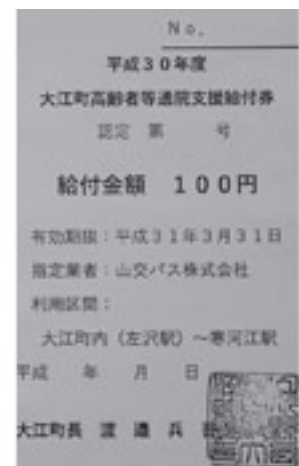
給付を希望する方は、後期高齢者医療被保険者証または身体障害者手帳の写しと印鑑をお持ちのうえ、健康福祉課保健衛生係にある申請書に記入して申請してください。利用の際は、バス利用の降車時に後期高齢者医療被保険者証または身体障害者手帳を提示し、給付券と運賃から200円を差し引いた金額を運賃箱に入れてください。

なお、身体障害者手帳を持っている方は身体障害者運賃割引に該当するため、給付券100円を使用してください。また、他の通院支援を受けている方は対象外となります。

健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114



▲高齢者用給付券(黄色)



▲障害者用給付券(青色)



◀高齢者等通院支援給付券を利用されている鈴木國雄さん・信子さん夫妻(12区)。「運転免許証を返納してからは、バスで町外の4つの医療機関に通っています。給付券があって大変助かっています」と話してくださいました



### 3 ■地域住民の声を町長へ ～七軒地区区長会要望会～



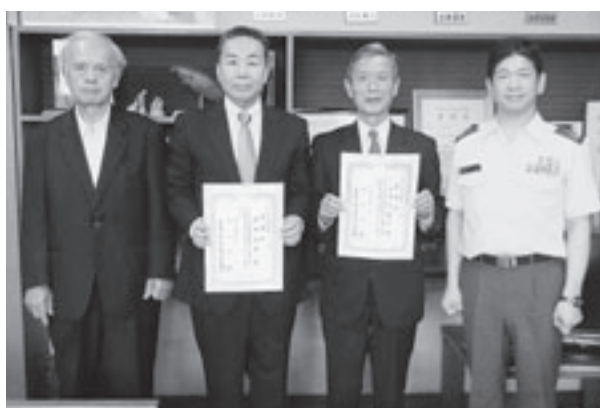
七軒地区区長会による町への要望会が、6月25日に役場大会議室で開かれました。この会には七軒地域7地区の区長などが出席し、それぞれの地区の皆さんが感じている課題や希望事項について町へ要望。同会会長の松田怜さん（貫見区長）が、それらを取りまとめた要望書を渡邊町長に手渡しました。

要望内容は、県道や町道の整備、林道や河川の改修、除雪、公共交通機関など、住民の皆さんの生活に密接に関わる21項目です。これを受けて、町では内容について検討し、可能なものは実現に向けて早期に取り組んでいく旨を回答しました。

### 4 ■募集と育成のために協力 ～自衛官募集相談員委嘱状交付～

町の自衛官募集相談員委嘱状交付式が、6月5日におこなわれました。自衛官募集相談員は自衛隊志願者への情報提供や入隊希望者の紹介、広報宣伝などの活動に携わる方々で、市町村長と自衛隊地方協力本部長の連名により委嘱されます。

このたび、本町では宇津江雅人さん（蛍水）と結城茂男さん（小新）に委嘱されました。お二人には、今後2年間相談員として自衛官の安定確保のために活動していただきます。



## 議会

town council

### 6月定例会

平成30年第2回大江町議会定例会が、6月6日から8日までの会期で開かれました。今定例会では平成30年度の各会計補正予算のほか、条例改正案などについて審議され、原案どおり承認・可決されました。そのうち、主なものをご紹介します。

#### 行政報告

#### 大江町産業振興公社の決算報告

公社からの報告によると、公社が管理する施設全体の昨年度の利用者数は約63万8千人で、対前年度比0.52%増、売上高は約2億7800万円、0.45%の減となりました。町のさわやか健康づくり事業の補助率改定に伴って昨年3月にまとめ買いをした方が多く、入浴料収入が大幅に減少したことが要因であるとのことです。

#### 契約締結

平成30年度大江町朝日連峰古寺案内センター新築工事について、指名

競争入札の結果、落札した林建設株式会社と工事請負契約を締結することが可決されました。

#### 条例改正

4月2日から3日にかけて、後期高齢者医療広域連合に提出する31人のマイナンバーや口座番号が記載された文書が紛失したことが確認されました。町では個人情報記載された関係者に謝罪するとともに、マイナンバーを職権で変更するなど二次被害を防止するための措置を取りましたが、依然として文書の発見には至っていない状況です。

#### 補正予算

平成30年度一般会計予算について、歳入歳出予算の総額にそれぞれ3030万円を追加し、補正後の予算総額は48億3130万円となりました。





陶芸ミニ体験



アロマワックスバー体験



色彩植物拓体験



シェイガーから花苗プレゼント

# 第13回 あじさい手作り 工芸まつり

趣味のサークルや個人が制作した工芸作品などを広く展示発表する「あじさい手作り工芸まつり」が、6月3日に中央公民館で開催されました。13回目を迎える今年は町内外から40団体が出展。来場者と出展者合わせて840人が参加しました。会場にはバッグやアクセサリー、小物といった手作り工芸品の展示販売ブースのほか、工夫を凝らした料理やお菓子などの味覚を楽しめるコーナーも並びました。また、作品制作を気軽に体験できるブースも設けられ、参加者は自分だけの作品作りに夢中になっていました。



メイン会場となった中央公民館町民ホール



# 3歳児 Smile Photo



6月8日に3歳児健診を受けた元気なちびっ子たちを紹介します！  
(順不同)



いとうこころ  
伊藤琥々くん  
1区



よこやま ふく  
横山 福くん  
12区



しやうじはるせ  
庄司遥風ちゃん  
小漆川



しやうじりん な  
庄司琳音ちゃん  
藤田



まつだ せいな  
松田聖来ちゃん  
木の沢



かしわぐらりゅうせき  
柏倉龍仁くん  
小見



すずき ちはな  
鈴木知花ちゃん  
山崎



さいとうしゅんすけ  
齋藤駿介くん  
11区



わかまつ りさ  
若松瑠泉ちゃん  
9区



こうへいゆうと  
公平雄人くん  
みなみ



あべ こうたろう  
阿部晁太郎くん  
堂屋敷



とみやま ゆい  
富樫由衣ちゃん  
2区



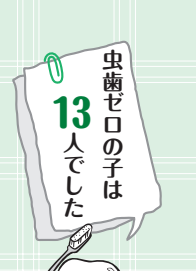
わたなべてつや  
渡辺煌雅くん  
藤田



ながあわれな  
長岡玲那ちゃん  
みなみ



すずき むつ  
鈴木望央ちゃん  
藤田



むと みつき  
鵜田光咲樹くん  
美郷



わたなべひまり  
渡辺陽葵ちゃん  
3区



さしけいりな  
佐竹玲香ちゃん  
下北山



まるやまあおい  
丸山葵叶くん  
木の沢







## 6/2 竹から生まれたふわふわパン

ぷくらすカレッジの講座のひとつ「ドキドキ!! 自然体験塾」が、6月2日に大山自然公園でおこなわれました。今年度第1回目の開催となったこの講座には、町内の小学生13人が参加。竹をオープン代わりにしたパン作りに挑戦しました。

子どもたちは午前中にパン生地を練り、縦に半分に割った竹の中に詰め込んで発酵させました。30分ほど火にかけて竹を開けると、香ばしい香りとともに手作りパンが完成。子どもたちは「ふわふわでおいしい」と、焼きあがったパンを大喜びでほおぼっていました。



## 6/9 土俵際でしのぎを削る!

左沢小学校の伝統行事である相撲大会が6月9日に開催され、全児童が一本勝負や3人抜きで勝敗を競い合いました。相撲場では、相撲大会の伝統を謳った「左小相撲甚句」のほか、5、6年生男子の堂々たる土俵入りが披露され、取組の幕開けを飾りました。

土俵上への声援は6年生男子の三役一本勝負で最高潮に達し、東西両横綱は正々堂々の四つ相撲を展開して土俵下を沸かせました。取組を終えた児童たちは勝敗に関わらず「よくがんばったね」と声を掛け合い、互いの健闘を称えていました。



## 6/11~17 出会った笑顔がよみがえる

6月20日に地域おこし協力隊の任期を終えた野木桃子さんの、3年間の活動記録を展示する「あどばい日記展」が、6月11日から17日にかけてまちなか交流館「ATERA」で開かれました。

「あどばい日記」は、野木さんが活動中に得た話題などを地域の皆さんに伝えようと手作りした活動誌で、平成27年11月から今年6月まで30回にわたって発行されました。野木さんは「みんなに読んでほしくて、苦手の絵もがんばって描きました。始めのころに書いたものを見ると懐かしいですね」と、笑顔で活動を振り返っていました。



## 6/24 健康も味覚もいところ取り!

町体育協会が主催する第36回「舟唄健康マラソン大会」が、6月24日に開催されました。この大会は2kmから10kmまでの4つのコースのマラソンと、5kmのウォーキングの合わせて5種目でおこなわれ、合わせて263人がエントリー。抜けるような青空の下、それぞれ自分のペースで完走・完歩を目指して汗を流しました。

大会では昨年に引き続き東海大山形高校陸上競技部などのゲストランナーも参加。やまがた地鶏のから揚げなどのおもてなしもあり、ランナーはゴール後のひとときも楽しんでいました。

## 6/24 次世代に歌い継ぐ舟運ロマン

第35回「正調最上川舟唄全国大会」が、6月24日にふれあい会館で開催されました。今大会には町内外から合わせて64人が出場し、全国一の舟唄の歌い手を目指して力強い歌声を披露しました。

また、民謡歌手の清野明子<sup>きよの</sup>さんをはじめ多くのゲストが出演し、大会を盛り上げました。

### 《大会結果》各部門5位まで・敬称略

- ◇一般の部／優勝 奥山 ヒデ (河北町)
- 準優勝 植村美佐江 (東根市)
- 第3位 庄司扶美子 (酒田市)
- 第4位 遠藤 憲一 (山形市)
- 第5位 水戸 邦夫 (天童市)
- ◇シニアの部／優勝 長瀬由美子 (東根市)
- 準優勝 鈴木 善美 (山形市)
- 第3位 鈴木 健 (宮城県)
- 第4位 仲野たみ子 (河北町)
- 第5位 作間 京子 (宮城県)
- ◇ジュニアの部／優秀賞 阿部 千紘 (山形市)
- (出演順) 鈴木こはく (東根市)
- 鈴木 星矢 (13 区)
- 笹川 愛琉 (蛭水)
- 佐藤 美玖 (寒河江市)



▲一般の部優勝 奥山ヒデさん



▲ジュニアの部優秀賞  
笹川愛琉さん(上)  
鈴木星矢さん(下)



▲シニアの部優勝  
長瀬由美子さん



## 6/30~7/1 土砂降りにも負けず自然を満喫!

子どもたちが自然の中で集団生活を体験する「大江GO!GO!キャンプ2018」が、6月30日と7月1日の2日間にわたって朝日少年自然の家でおこなわれました。今回は町内の小学校4、6年生20人が参加し、木のスプーン作りや夕食の調理、ドラム缶風呂などを体験しました。

1日目の夕方にはグループごとに協力して夕食のカレー作りに挑戦。突然の激しい雷雨に驚きながらも、子どもたちは好みの調味料を加えたオリジナルカレーを仕上げ、自分で作った木のスプーンでおいしそうに味わっていました。



## 7/1 猛暑の中でも「宝」を発見

町内外の人とモノの交流を促すマルシェ<sup>あてらいち</sup>「左市」が、7月1日にまちなか交流館「ATERA」で開かれました。昨年に続き3回目の開催となった今回は、オープンしたまちなか交流館を会場に、東京都内で日本海側地域の文化を伝えるために活動中の「GRAYSKY<sup>グレイズカイ</sup>project」が出店したほか、町内出店者による飲食や農産物、雑貨、工芸、生花などバラエティ豊かな数々のブースが立ち並びました。

この日は朝から猛暑に見舞われましたが、会場は家族連れなど多くの来場者でにぎわいました。



# 町長 Column

田んぼの中に「カラス」がいる。時々頭を下げて、上を向き、また頭を下げた。田んぼに「カモ」はよく見るが、「カラス」とは……。車を降りて静かに近寄ってみると、田んぼは地肌が見えて、所々の水たまりにはかなりの数の「オタマジャクシ」が背中を見せ動いていた。「カラス」さんにとつて「オタマジャクシの踊り食い」は最高のご馳走のようで、近くまで寄っていた私には、見向きもせず無関心の態であった。

田んぼから「蛙」や「たにし」や「どじょう」、水棲昆虫……が消えた時に、それらを餌にしていた「朱鷺」も消えた。田んぼには生き物たちが食わせ食わされ、生かし生かされて共に生きてきた「共生社会」があったのだと思う。昔、この田んぼで「朱鷺」が餌を取ったかは知らないが、今、カラスが、蛙の赤ちゃんを食べているのは間違いない。水たまりを埋めるような膨大な数の「オタマジャクシ」と3羽の「カラス」、「オタマジャクシ」の全滅は考えられない、とは思っても……。満腹のメタボカラスも許せない。大きな声を上げて拍手でも打てばカラスも逃げては行くであろうが……見れば少し離れた田んぼには作業中の農家の人、「体裁も大事だ」に負けて……車に戻った。

「共存共栄は恒久の課題であるのに、絆創膏を貼るような方法で一時を凌いでいる」と示唆する時評——「作物の病虫害への薬剤は、おいしい果実を確かに保証するが、同時に多くの昆虫の生命を奪うことになり、昆虫無しの『受粉』は不完全で美味しい果実は保証されない」——を時折読む。悲観的でもなく楽観的でもない「静かな語り口」の論されるような意見には、「そのうち何とかなるだろうさ」ととすんなり収めてしまうのか、それとも将来に向かって「念には念を入れて練習準備せよ」と向かってゆくのかわ、厳しい問い掛けが含まれているように思う。「ネオニコチノイド」系の虫殺しは諸外国では「使用禁止薬剤」になっているのに、日本は……といった問いの掛けだ。「集団のオタマジャクシ」で、「3羽のカラス」にどう語り、教えるか。今は夜の10時、カラスの鳴き声はさすがに聞こえはしないが、蛙の歌が聞こえている。残ったオタマジャクシへの「励ましの合唱」か、それとも「悲しさと共に生きてゆく」合唱か……

大江町長 渡邊 兵吾

## 地域おこし協力隊通信

No.44



私は地域おこし協力隊の業務として「大江町ホームページのリニューアル」を担当してきました。このホームページが先月18日に公開となり、現在さまざまな媒体で閲覧することができますので、ぜひご覧ください。ホームページの公開までは、多くの方々に助けられて完成を見ることが叶いました。ご協力いただいた方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

ホームページの再構築にあたっては、デザインを一新してスマートフォンでも見やすくすることを主眼としました。また、観光分野の情報をより分かりやすくお伝えするために、観光・イベント情報を町観光物産協会のホームページへ移動しました。今後はSNSを用いた多面的な情報発信を目指すとともに、広告やデザインの方面に重点を置いていこうと思います。

地域おこし協力隊 坂口祥太



↑7月1日に紫陽花まつりの撮影に行ってきました！

### 短歌

万緑の農道歩み餅草を天婦羅にして家族の笑顔

松田 靄

オタタカチヨオタタカチヨツチヨと鳴く鳥の

佐竹磨砂湖

薫風や巫女は猫とたわむる吾は参拝おみくじを読む

安藤由美子

来て嬉し帰りに安堵孫達よ世の爺婆と同じせりふを

山家 重之

農篤く都会の青年就農す休耕田開く姿は一流農夫

菊地つねよ

黒文字の樹皮の香りはシナモンの作りし楊枝に茶のおもてなし

佐竹 與鼓

天国を覗き見すれば山笑ふがんを克服われ九十歳

斎藤 徳治

### 俳句

栗の木や千の毛虫の宿と化す

阿部 一風

神前に雨の祈りし老ひとり

鴨田富士夫

葉桜や連れ亡きあとの淋しさよ

松田 靄

木洩れ日に色のかや姫さゆり

安藤 桂花

夜明くれば孫の足音青あらし

山家 重之

薫風やべちやくちや止まぬ下校の子

熊谷 勉

青嵐不意打ち食らひ帽子飛び

舟山 三男

父の日や寡黙に頑固押し通す

伊藤 啓泉

## 吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



# Youthful ★ トーク ★

今年4月から天童市内の金融機関に勤務している佐竹さん。大学では不動産に関する法律を専攻していました。

「不動産や金融など、人生の中の大きなイベントに携わる仕事をしたいと考えていました。お客さん一人ひとりにしっかりと向き合い、その方の助けになれるようにと思っています」

休みの日には車で出かけることが多いといいます。ラーメンの食べ歩きやブラックバス釣りに出掛けたり、友人と一緒に卓球をしたりと、アクティブに休日を過ごしています。

「移り変わっていく自然の風景の中を車で走るのも気持ちいいですね。いろんな楽しみがあったほうがリフレッシュできていいと思います」

専門知識が必要な金融業は覚えることが多く「受験勉強よりも勉強量が多いかもしれない」と話す佐竹さんですが、「早く仕事に慣れて、助けを必要とする方の力になれるようにしたいです」と、力強く目標を語ってくれました。

佐竹 裕也さん  
(22歳・若原)

オンリーワンの頼れる存在に

シリーズ企画

月刊

## 仲間とエンジョイ! No.17

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

### すいごうムーブ 酔郷夢舞

イベントなどを企画し町を盛り上げようと、平成15年に結成された「大江町祭事振興会Mover」。その中で、若い世代が親しみやすいダンスを通して町おこしができないかと立ち上げられた団体が「酔郷夢舞」です。現在のメンバーは6人。大江の秋まつりをはじめとするイベントに出演し、華麗なパフォーマンスを披露しています。

ダンスのレパートリーの中心は、最上川舟唄のヒップホップ風アレンジバージョン。子どもたちにも普及活動をおこない、大江中学校では「まめざわ踊り」として修学旅行などで生徒たちが披露しています。メンバーの木村洋平さん(山崎出身)は「若い人たちがダンスを通して最上川舟唄などに興味を持ち、地元愛を育ててくれたら嬉しいです」と話していました。



▲酔郷夢舞の皆さん



▲正調最上川舟唄全国大会でのパフォーマンス



# お知らせ

## Information

### 生産性向上特別措置法に基づく 先端設備等導入計画について

町では、今年施行された生産性向上特別措置法に基づいて導入促進基本計画を策定し、国からの同意を受けました。中小企業者は、この計画に沿って先端設備等導入計画を作成し、町から認定を受けた場合に次の支援措置が受けられます。

○先端設備等導入計画に基づき取得した対象設備の固定資産税が3年間ゼロになります、○先端設備等導入計画に基づく事業に必要な資金繰りの支援を受けられます、○国の補助金での優先採択があります  
※詳細は中小企業庁のホームページをご覧ください。

問 政策推進課起業推進係

☎(62)2139

### 「空き家相談会」のお知らせ

山形県宅地建物取引業協会寒河江支部で空き家相談会を開催します。無料で相談できますので、空き家を

お持ちの方などはお気軽にお問い合わせください。

◆日時／7月28日(土)10時～15時

◆会場／ハートフルセンター(寒河江市中央2丁目)

問 山形県宅地建物取引業協会寒河江支部

☎(86)4341

### 7月23日～29日は肝臓週間 肝炎夜間相談を開催します

◆日時／7月24日(火)13時～20時

◆会場／村山保健所(山形市十日町)

◆内容／肝炎相談、血液検査(B型肝炎抗原検査・C型肝炎抗体検査)

◆その他①相談・検査は、匿名・無料で受けられます、②相談は保健師が対応します、③事前予約制。ただし当日受付も可能

問 村山保健所保健企画課感染症予防担当 ☎023(627)1117

### 「日本一くんカフェ」

#### (大江町認知症カフェ)について

町では毎月1回「日本一くんカフェ」(大江町認知症カフェ)を開催しています。認知症のご家族を介護している方、認知症に関心のある方、お気軽にいらしてください。

◆日時／7月22日、8月26日、9月23日、10月28日、11月25日、12月23日

## ふるさと納税お礼の品 提供事業者を募集します

町では、ふるさと納税で寄付していただいた方へのお礼の品を通して、全国へ町の魅力を発信しています。

そこで、町ならではのお礼の品をご提供いただける事業者を募集します。

◆応募の要件／①町内で栽培、製造、加工、販売、サービスなどをおこなっていること、②法令などに違反していないこと、③町税の滞納がないこと、④暴力団の構成員などでないこと、⑤個人情報取り扱いを厳重におこなえること

◆募集するお礼の品／①町の特産品や魅力をPRできるもので、町内で栽培、製造、販売などがなされているもの、②安定供給が見込め、速やかにお礼の品の発送ができること

※お礼の品の価格は、寄附金額の約3割で設定しています。

※詳細は町ホームページをご覧ください。

問 政策推進課総合戦略推進係 ☎(62)2118



日、1月27日、2月24日、3月24日(全て日曜日) 14時～16時

◆会場／中央公民館

◆内容／介護相談、お茶会

◆参加費／100円

問 グループホームあじさい ☎(83)4177

または、地域包括支援センター(健康福祉課内) ☎(84)1495

### 自衛官募集および 採用制度説明会のお知らせ

#### 【自衛官募集】

#### ◆応募資格

○自衛官候補生、一般曹候補生／18歳以上27歳未満

○航空学生／高卒(見込含む) 21歳未満

◆応募締切／9月7日(金)

◆一次試験／

○自衛官候補生、一般曹候補生／9月21日(金)～23日(日)※いずれか1日を指定

○航空学生／9月17日(月)

#### 【自衛官採用説明会】

◆日時／7月22日(日)10時～14時

◆会場／ふれあい会館

問 自衛隊山形募集案内所

☎023(634)3439

#### 婚活イベント

#### 「サマー・キャンドル・ナイト」

中山町商工会青年部主催の婚活イベントです。畑の真ん中にあるピザ屋さんで婚活しませんか？

◆日時／8月25日(土)16時～

## 平成30年度からの介護保険料について

介護保険制度は、要介護(支援)の認定を受けた方にさまざまな介護(予防)サービスを利用していただくことで自立した生活を可能にし、介護者の負担軽減も図る制度です。

高齢化の進行により今後もサービスの利用が増える予想されていますが、平成29年度に策定した第7期介護保険事業計画では、平成30年度から32年度までの3年間、65歳以上の方の介護保険料を下記のとおり据え置くこととしました。これからも、老後の安心を支える介護保険制度にご理解とご協力をお願いします。



### ◆改定介護保険料率

段階区分	対象者	介護保険料	
		月額(上段)	年額(下段)
第1段階	生活保護費を受給されている方または町民税世帯非課税かつ老齢福祉年金を受給されている方、町民税世帯非課税かつ本人の合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の方	2,723円	
			32,676円
第2段階	町民税世帯非課税かつ本人の合計所得金額+課税年金収入額が80万円超120万円以下の方	4,538円	
			54,456円
第3段階	町民税世帯非課税で本人の合計所得金額+課税年金収入額が120万円超の方	4,538円	
			54,456円
第4段階	本人が町民税非課税で本人の合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の方	5,445円	
			65,340円
第5段階(基準額)	本人が町民税非課税で本人の合計所得金額+課税年金収入額が80万円超の方	6,050円	
			72,600円
第6段階	本人が町民税課税かつ合計所得金額が120万円未満の方	7,260円	
			87,120円
第7段階	本人が町民税課税かつ合計所得金額が120万円以上200万円未満の方	7,865円	
			94,380円
第8段階	本人が町民税課税かつ合計所得金額が200万円以上300万円未満の方	9,075円	
			108,900円
第9段階	本人が町民税課税かつ合計所得金額が300万円以上の方	10,285円	
			123,420円

※第1段階の保険料について、平成30年度も軽減措置(軽減前3,025円)が実施されますが、平成31、32年度の実施は未定です。

☎健康福祉課福祉係 ☎(62)2285 (介護保険制度担当)  
 税務町民課町民税係 ☎(62)2119 (介護保険料担当)

- ◆会場 / やまや園ビザリア(中山町)
- ◆対象 / 20〜40歳の独身の方
- ◆募集人数 / 男女各16名
- ◆参加料 / 男性5千円、女性3千円
- ◆申込締切 / 7月31日(火)
- ◆申込方法 /
- ◆メール (nakayamakonkatsclub@gmail.com) または FAX 023(662)2073

- ◆講習期間 / 第1種 8月28日(火)〜30日(木)、第2種 9月4日(火)〜6日(木)
- ◆会場 / 山形ビッグウイング
- ◆受講料 / 種別ごと 31882円 (科目免除がある場合 29882円)
- ◆受付期間 / 8月3日(金)まで(持参または郵送)
- ◆申込書入手先 / 西村山広域行政事務組合消防本部、消防署および各分署、山形県消防設備協会(日本消防設備安全センターホームページからダウンロードもできます)
- ◆一般社団法人山形県消防設備協会 ☎023(629)8477

### 消防設備点検資格者講習

職業、③メールアドレス、④常時連絡が取れる電話番号、⑤お友達の氏名・年齢(お友達と参加の場合)  
 問 中山町商工会  
 ☎023(662)2207

## 編集後記

ナ語は使わない!と意固地になるのではなく、うまく使い分けながら文章を書いていくのが「ベストなチョイス」なのかもしれません。(伊藤智治)

ところで、ここまで「英語」ではなく「カタカナ語」と書いてきました。英語などの外国語に由来する言葉はそれこそ膨大にあり、中には日本語に取り入れられて意味が変わってしまった言葉もたくさんあります。「片仮名」という文字で表されているからには立派な日本語。「カタカナ語」は使わない!

なぜ、安易にカタカナ語を使いがちになるのか? いろいろ理由があると思いますが、その1つは漢字よりもカタカナのほうが見た目も響きも柔らかい印象を受けるからではないかと。例えば「好機到来」と言うとき少し堅苦しいですが、「チャンス到来」だとより分かりやすく感じられます。

「カタカナ語が多い——今回の広報の記事を書いている途中で、ふとそう思いました。固有名詞や、「ブランド」のように広く一般に馴染んだ言葉なら良いのですが、そうでないものはなるべく日本語で書き表そうと意識しています。そうは言っても、文章を書いているうちに無意識にカタカナ語を使ってしまう「これ、日本語ではどう言うんだろ?」としばらく考え込んでしまうこともあります。



# 思い出の No.33 まいぞうひん My 蔵品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲愛用のベースを奏でる  
佐々木さん

学生時代に購入したという、▶フェンダー社製のエレキベース。ボディには当時佐々木さんが好きだったバンドなどのステッカーが貼り付けてあり、佐々木さんの音楽への熱中ぶりをうかがい知ることができます



大学生のころから使っているエレキベース（Fender Japan Jazz Bass）です。当時はジャパニーズパンクロックが大流行りしていました。特に好きだったバンドは Shaka Labbits という女性ボーカルのバンドで、そのベーシストにあこがれてベースを始めました。仲間とバンドを組んで、曲を作ったり、ライブハウスを借りて演奏したりしていました。

もともと、ギターを弾いたり、中学では吹奏楽部に所属していたりと音楽が大好きで、大学院の卒業時には某大手楽器店から就職の内定までもらっていました。結局、就職はせずにネイチャーガイドの道を選びましたが、あの時音楽関係に進んでいたら今頃どんな人生だったかなあと思うことがあります。

（柳川平 佐々木隆馬）

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？ 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで、ぜひお知らせください。

## 戸籍のまど

5月21日～6月20日受付分

### お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
7区	國井 颯介	男	傑・優澄

### ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
藤田	堀 登美栄	(89)
諏訪原	菊地 ツヨエ	(94)
望山	鈴木 忠	(79)
7区	今井 恵美子	(86)
小見	伊藤 惣吉	(81)
堂屋敷	阿部 ヨシエ	(92)
藤田	加藤 幸江	(84)
下モ原	富樫 光義	(82)
13区	若松 健衛	(92)
木の沢	佐藤 一夫	(64)
7区	松坂 トモヨ	(86)
月が丘	鈴木 久司	(84)
1区	高橋 衛	(88)
富沢	安藤 幹弘	(89)



### 人口と世帯(前月比)

町の人口	8,284人(-14)
男	4,119人(-5)
女	4,165人(-9)
世帯数	2,930戸(+5)

平成30年7月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。